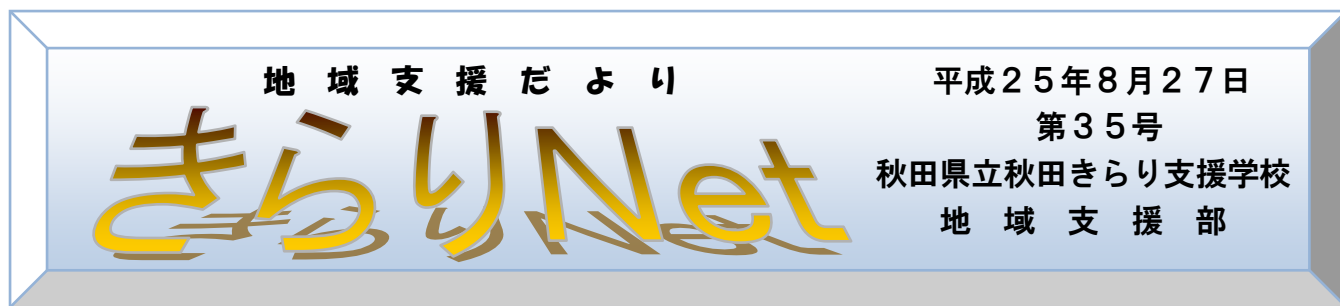


秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。



第59回 全国肢体不自由教育研究協議会
第51回 東北地区肢体不自由教育研究大会
《秋田大会》

11月14日（木）、15日（金）、秋田市にて標記の大会が行われます。

肢体不自由教育の指導内容・方法等について、研究協議、ポスター発表、公開授業を通して協議を深め、肢体不自由教育の充実・改善を図ることを趣旨とした全国大会で、全国各地区より、すばらしい研究の取組や指導事例が発表されます。

主な会場と内容ですが、大会初日の11月14日（木）はキャッスルホテルを主会場に文部科学省調査官による講話、小松 守 氏（秋田市大森山動物園 園長）を講師にお迎えしての記念講演、そして分科会協議を行います。各分科会の概要は次のとおりです。

第1分科会「授業改善」	授業研究の手法や成果により授業改善を図る。
第2分科会「学習指導Ⅰ」	授業の工夫を通して教科指導の充実を図る。
第3分科会「学習指導Ⅱ」	授業の工夫を通して領域・教科の指導の充実を図る。
第4分科会「学習指導Ⅲ」	授業の工夫を通して自立活動の指導の充実を図る。
第5分科会「自立活動」	自立活動の指導について専門性の向上を図る。
第6分科会「健康教育」	健康推進にかかわる指導の専門性の向上を図る。
第7分科会 「情報教育・支援機器の活用」	情報教育・支援機器活用の実践により授業改善を図る。
第8分科会 「生活指導・寄宿舎教育」	生活指導・寄宿舎教育の視点により生活指導の充実を図る。
第9分科会 「キャリア教育及び進路指導」	キャリア教育及び進路指導の視点を共有し指導の充実を図る。
第10分科会「地域との連携」	地域という視点から学校の機能向上を図る。



大会二日目の11月15日（金）は本校に会場を移し、ポスター発表と授業公開を行います。詳細につきましては、本校ホームページを御覧ください。ホームページより参加申込書をダウンロードできます。参加申込みと問い合わせは本校大会事務局までお願いいたします。

【大会事務局】 秋田県立秋田きらり支援学校

〒010-1407 秋田県秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3-127

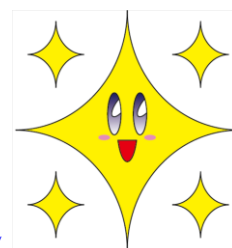
電話：018-889-8573 FAX：018-889-8575

事務局 長：秋田県立秋田きらり支援学校副校長 靱山 節子

【大会事務局アドレス】 E-mail：zenshiken-kirari@akita-pref.ed.jp

【事務局ホームページアドレス】 <http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/>

※大会情報は事務局ホームページに掲載いたします。随時御確認ください。 秋田きらり支援学校マスコット



「きらりん」

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

きらり☆地区別研修会を開催いたしました

県北7月30日、県央8月1日、県南8月5日の日程で「きらり☆地区別研修会」を実施しました。会には、小・中学校や特別支援学校の教員など3地区合わせて46名の参加がありました。会の次第としては、秋田県立医療療育センターの理学療法士、木元稔先生から「姿勢・動作のいろは―一手足が不自由な児童・生徒のために―」という演題で講演をいただき、その後、グループに分かれて各校の取組についての情報交換を行いました。参加者からは、「脳性まひの障害構造についてや専門家との連携のためのリハビリ参観についての内容が分かりやすかった。」

「椅子に座る際のいろいろな身体の関係が分かり、改めて子どもたちの姿勢を大切にしていきたい。」「たくさん情報交換ができ、アドバイスもただけて有意義な時間になった。」などの感想をいただきました。講演内容などについてお知りになりたい方は、地域支援部まで御連絡ください。



かがやきの丘 ボランティア講座から

8月6日、7日にきらり、盲、聾の3校合同による「かがやきの丘ボランティア講座」が開かれ、30名ほどの参加者がありました。講座では、各校の学校説明やそれぞれの障害に合わせた配慮点についての講義、車椅子に乗っての移動、目隠しをしての歩行、難聴体験などの障害疑似体験を行いました。講座修了後は、参加者のみなさんに修了証が発行され、そのうち8名の方には、ボランティア登録もしていただきました。この後の学校行事等での活躍が期待されます。



病弱・身体虚弱教育担当教員研修会を開きました

8月1日、県総合教育センターを会場に県内小・中学校の病弱学級担任の先生方が対象の研修会を開催しました。全部で16ある県内の学級から、小学校5名、中学校2名の先生方が参加しました。

ほかに、現在県の病弱教育拠点校である「ゆり養護学校道川分教室」からも3名の参加があり、コンパクトながら充実した研修会となりました。

秋田大学の藤井准教授の「病弱・身体虚弱教育の現状と望ましい支援の在り方」と題する講話を通じて、病弱教育の意義や現在の課題について知ると共に、引き続いて協議に入り、児童生徒の学校生活にまつわる様々な課題について情報交換を行いました。今回のように日頃の疑問を話し合う機会がもっとあればよいという感想も聞かれた研修会でした。参加の先生方に感謝申し上げます。（宮澤 記）

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

次号は9月20日発行予定です。